

6月17日(金)現在

本県の新型コロナウイルスの感染状況や医療逼迫状況等は 国評価レベル1(維持すべきレベル)です

本県では、新規感染者が継続的に減少しておりますが、直近1週間の10万人当たり新規感染者数は、未だに50人を超えており、第6波が始まる以前と比較すると**感染者数が多い状況が続いています**。

県民の皆様には、気を緩めず、**会話時の不織布マスクの着用、密の回避やこまめな換気など**、引き続き、**基本的な感染防止対策の徹底**をお願いします。

なお、夏季を迎え、熱中症リスクへの懸念等があります。屋外では、**近くで会話をしなければマスクは不要**です。**適切なマスクの着用**をお願いします。

一方、感染により**若い世代でも咳や頭痛、倦怠感等の後遺症が長く続く傾向があること**から、ワクチンの**3回目接種や4回目接種**(高齢者や基礎疾患のある方など)が可能な方は、できる限り早期に接種されるようお願いいたします。

6月16日現在

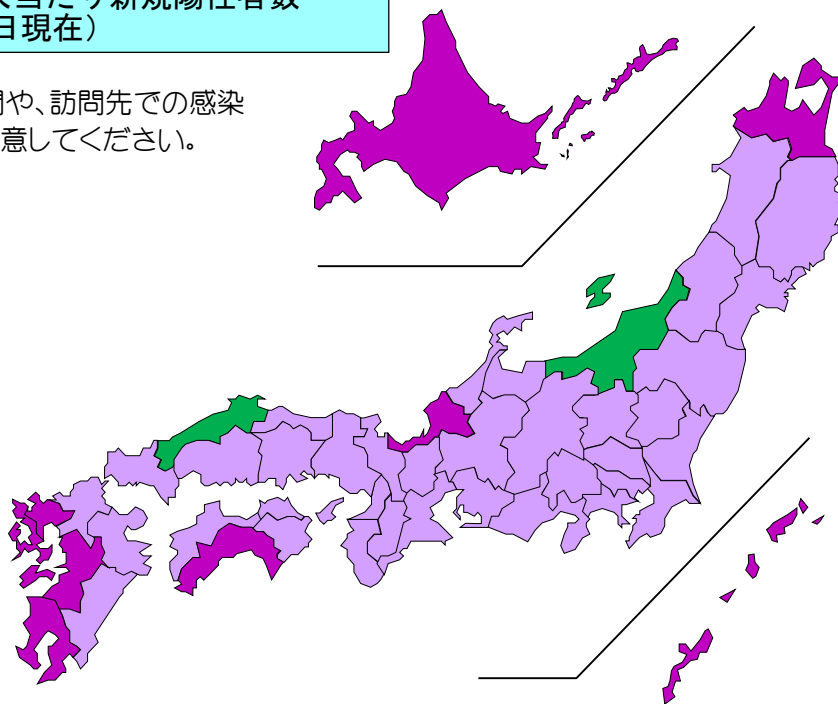
病床利用率 (約610床)に対する割合	
(全県)	7.3%
東部	8.1%
中部	5.5%
西部	8.7%

直近1週間の10万人
当たり新規陽性者数

53.0人

全国の直近1週間10万人当たり新規陽性者数 (6月16日現在)

※感染リスクが高い場所への訪問や、訪問先での感染リスクの高い行動には十分に注意してください。



マスク着用が不要な場合について

熱中症のリスクや、表情が見えにくくなることによる小児の発達への懸念から、**マスク不要な場合**を以下のとおりお示します。

○ **屋外では、近くで会話をしなければマスクは不要**

○ **就学前の子どもは、マスクは原則不要**

(注意点)

マスクを必要とする状況は、場面により変わりますので、**外出時は常にマスクを携行**しましょう



次回発表予定 令和4年6月24日(金)

※上記発表前でも必要に応じて随時発表する場合があります

県民・事業者の皆様へのお願い

県民の皆様へのお願い

○不織布マスクの着用については、「**屋内での会話時や電車内などはマスク着用**」をお願いします。一方、「**屋外では、近くで会話をしなければマスクは不要**」、「**就学前の子どもは、マスクは原則不要**」です。この際、本人の意に反して**マスクの着脱を無理強いすることはやめましょう**。また、**常にマスクの携行**をお願いします。

○飲食を伴う会合では、食べる時は会話をせず、**会話する時は必ず不織布マスクを着用**するようお願いいたします。また、大声や**マスク非着用の歌唱は避けて**ください。

○飲食店や宿泊施設を利用する場合は、「**ふじのくに安全・安心認証**」など、感染防止対策が徹底されている店舗・施設を御利用ください。

○お住まいの市町から接種券が届きましたら、**ワクチンの接種の検討**をお願いします。
3回目のワクチン接種率が高い年代は感染者数が少ないほか、高齢者の重症化率が低下するなど、接種効果が認められます。

また、**感染により、40歳代以下の若い世代でも、感染後、咳や頭痛、倦怠感、集中力の低下などの後遺症が長く続く傾向**がありますので、**接種が可能な方は、早期の検討**をお願いします。

下記の県の大規模接種会場では、2回目接種から5ヶ月以上経過している方は接種券や予約が無くてもワクチン接種ができます。

また大規模接種会場では、ノババックスワクチンの接種も開始しているほか、4回目接種も行っています。(対象は3回目接種から5ヶ月以上経過した60歳以上の方及び18歳以上60歳未満で基礎疾患等を有する方です。)詳しくは県HPを御確認ください。

大規模接種会場



【静岡県の大規模接種会場】

- ・もくせい会館（静岡市葵区鷹匠3丁目6-1） 8月29日(月)まで
- ・プラサヴェルデ会場（沼津市大手1-1-4） 8月29日(月)まで
- ・パティオ袋井会場（袋井市上山梨4-1-2） 7月8日(金)から8月30日(火)まで

事業者の皆様等へのお願い

○事業者の皆様は、**業種別ガイドライン**や「**ふじのくに安全・安心認証制度(飲食店・宿泊施設)**」に**則った感染防止対策の徹底**、換気や座席間の距離の確保など感染しにくい環境を確保してください。

○催物(イベント)の主催者の皆様は、基本的な感染防止対策の徹底とともに、参加者名簿の作成や接触確認アプリ「COCOA」等を活用し、参加者の把握に努めてください。また、参加人員5,000人超かつ収容率50%超のイベントを開催する場合は、県に具体的な感染防止策を記載した「**感染防止安全計画**」を提出してください。

○事業者の皆様は、職場における基本的な感染防止対策の徹底、特に「**居場所の切り替わり**」での感染防止対策や、在宅勤務、時差通勤など、人との接触を低減する取組などの感染防止対策を推進してください。

○学校や保育所等では、感染防止対策の徹底、感染リスクの高い行動を回避するとともに、職員や児童・生徒等に何らかの風邪症状がある場合については、かかりつけ医又は発熱等診療医療機関への速やかな受診を勧奨するように御協力願います。

○福祉施設等の事業者の皆様は、市町から配布された抗原定性簡易キットを活用し、陽性者の早期発見に御協力願います。

静岡県内市町別「直近1週間・人口10万人当たりの新規陽性者数」

単位	人口 (A) 人	5月27日～6月2日		6月3日～6月9日		6月10日～6月16日		単位	累計 陽性者数 人
		陽性者数 計 (B) 人	対人口 10万人 B/(A/100) 人	陽性者数 計 (B) 人	対人口 10万人 B/(A/100) 人	陽性者数 計 (B) 人	対人口 10万人 B/(A/100) 人		
沼津市	189,677	197	103.9	72	38.0	91	48.0	沼津市	8,711
熱海市	36,351	29	79.8	21	57.8	10	27.5	熱海市	1,652
三島市	108,435	141	130.0	53	48.9	34	31.4	三島市	4,453
富士宮市	128,748	72	55.9	81	62.9	70	54.4	富士宮市	5,027
伊東市	65,704	34	51.7	28	42.6	18	27.4	伊東市	2,502
富士市	245,089	195	79.6	203	82.8	118	48.1	富士市	10,523
御殿場市	87,345	168	192.3	77	88.2	91	104.2	御殿場市	5,060
下田市	21,161	5	23.6	13	61.4	4	18.9	下田市	709
裾野市	51,206	50	97.6	11	21.5	25	48.8	裾野市	1,735
伊豆市	29,427	10	34.0	3	10.2	3	10.2	伊豆市	797
伊豆の国市	46,976	47	100.1	22	46.8	23	49.0	伊豆の国市	1,943
東伊豆町	11,771	1	8.5	0	0.0	3	25.5	東伊豆町	242
河津町	6,907	0	0.0	0	0.0	0	0.0	河津町	149
南伊豆町	7,970	1	12.5	0	0.0	0	0.0	南伊豆町	118
松崎町	6,246	0	0.0	0	0.0	1	16.0	松崎町	101
西伊豆町	7,384	1	13.5	1	13.5	2	27.1	西伊豆町	215
函南町	36,859	19	51.5	11	29.8	24	65.1	函南町	1,619
清水町	32,099	48	149.5	27	84.1	20	62.3	清水町	1,680
長泉町	43,015	34	79.0	16	37.2	15	34.9	長泉町	2,123
小山町	18,600	25	134.4	11	59.1	57	306.5	小山町	1,036
東部20市町	1,180,970	1,077	91.20	650	55.04	609	51.57	東部20市町	50,395
静岡市	692,632	849	122.6	677	97.7	504	72.8	静岡市	37,147
島田市	96,099	71	73.9	54	56.2	38	39.5	島田市	3,921
焼津市	136,752	101	73.9	66	48.3	39	28.5	焼津市	7,854
藤枝市	142,069	146	102.8	86	60.5	65	45.8	藤枝市	6,809
牧之原市	44,275	30	67.8	23	51.9	11	24.8	牧之原市	2,194
吉田町	28,936	22	76.0	9	31.1	9	31.1	吉田町	1,620
川根本町	6,438	5	77.7	0	0.0	0	0.0	川根本町	94
中部 7市町	1,147,201	1,224	106.69	915	79.76	666	58.05	中部 7市町	59,639
浜松市	791,854	836	105.6	605	76.4	434	54.8	浜松市	37,065
磐田市	166,310	183	110.0	95	57.1	51	30.7	磐田市	8,814
掛川市	115,133	165	143.3	59	51.2	58	50.4	掛川市	5,593
袋井市	86,928	116	133.4	80	92.0	39	44.9	袋井市	4,438
湖西市	58,667	55	93.7	34	58.0	15	25.6	湖西市	3,157
御前崎市	31,396	62	197.5	32	101.9	22	70.1	御前崎市	1,686
菊川市	47,355	60	126.7	43	90.8	19	40.1	菊川市	2,892
森町	17,764	9	50.7	6	33.8	8	45.0	森町	653
西部 8市町	1,315,407	1,486	112.97	954	72.53	646	49.11	西部 8市町	64,298
その他		8		10		10		その他	1,445
合計(静岡県)	3,643,578	3,795	104.16	2,529	69.41	1,931	53.00	合計(静岡県)	175,777

※1 人口は、2019年5月1日現在の市町別推計人口

※2 数値は速報値であり、感染者にかかる詳細調査等により、後日数値が訂正・変更される場合あり

マスクは常に携帯しましょう！ 場合別マスク着用の参考表

周囲の人の状況 屋内/屋外	自分1人のみ	同居人のみ	同居人以外の人々 (事例の赤字は国通知の事例)			
			2 m以上離れている		2 m以内にいる	
			ほとんど会話無し	会話・発声あり	ほとんど会話無し	会話・発声あり
屋内 ※1	不要 例) 1人で部屋で過ごす	不要 例) 家族で居間で団らん	不要 例) 図書館で席を離れて座り自習	推奨※2 例) 離れた席でおしゃべり	推奨 例) 通勤電車・バスの中	推奨 例) 狭い会議室での会議、カラオケ、麻雀
屋外	不要 例) 1人で散歩や自転車	不要 例) 家族でハイキング	不要 例) 静かにランニング・サイクリング・釣り	不要 例) 密にならない外遊び・テニス	不要 例) 徒歩通勤、静かな行列、野外観劇	推奨 例) 繁華街・観光地の人混み、友人とBBQ、球技観戦

* 就学前の子どもは、マスクは原則不要

* 高齢者や基礎疾患のある人、またはそのような方と接する人は、マスク着用を推奨



* マスク着用なしで咳やくしゃみをする際は、口鼻をハンカチやそででおおう
(咳エチケット)

※1 ; 車内(電車、バス、自家用車等)を含む

※2 ; 十分な換気等の感染対策をしている場合はマスクを外すことも可



マスクは いつも かばんに 入れる! マスクを つける つけない

まわりのひと いえ・のりもの または そと	じぶんだけ	かぞくだけ	かぞくではないひとたち			
			2めーとるよりも とおい		2めーとるよりも ちかい	
			しゃべらない	しゃべる	しゃべらない	しゃべる
たてものや のりもの なか 	 へやに いる	 かぞくで てれび	 とおくにはなれて しずかに どくしょ	 ※ とおくにはなれて しゃべる	 ひとが おおい でんしゃ、ばす	 せまい へやで、 しゃべる、うたう
たてものの そと 	 さんぽ	 かぞくで さんぽ	 らんにんぐ、 じてんしゃ、むしとり	 おにごっこ、 どっじぼーる	 あるいて がっこう へ いくとき	 ひとが たくさん いる ところ

- * しょうがっこうに はいる まえの こどもは、マスクは いらぬい (したい こどもは してよい)
- * おとしよりや びょうきの ひと、その ひとに あうとき、びょういんに いくときは、マスクを する
- * マスクなしで せきや くしゃみを する ときは、くち はなを はんかちや ふくで おさえる
- ※ かぜが おおく はいる へやでは、マスクを はずしても よい

新型コロナウイルスの感染状況や医療のひっ迫状況等を評価する国のレベル分類及び本県の対応

(令和3年12月3日から運用)

国 評価 レベル	指標		求められる対策	国評価レベルに応じた県の主な対応(注1)			
	1週間 新規感染者数	病床 占有率等		外出・移動	飲食店	イベント	事業所
4 避けたい レベル	—	最大確保病床数 を超過	・県及び医療現場の判断でさらなる一般医療の制限、保健所の積極的疫学調査の重点化	県内全域に、レベル3よりも強い活動の自粛や制限等を要請			
3 対策を 強化すべき レベル	—	3週間後に 確保病床数に到達 または 現状で病床占有率 や重症病床占有率 50%超	・県民等へ強い呼びかけ、まん延防止等重点措置や緊急事態措置等、各地域にふさわしい対策	・県内・県外の感染リスクが高い場所への外出、他県への不要不急移動自粛(注2)	・営業時間短縮や休業、酒類提供等の自粛(注2)	・開催規模(参加人数や収容率)の制限(注2)	・出勤者の削減等を強力に推進 ・施設の入場者整理等
2 警戒を 強化すべき レベル	①かつ②~⑤のいずれか (状況) ①2週連続増加 (10万人当たり) ②7.5人以上	③3週間後に 50%以上 ④20%以上 (入院患者数) ⑤100人以上	・感染リスクの高い行動回避の呼びかけ、感染拡大防止に必要な対策実施、保健所の体制強化、必要病床の段階的確保、レベル3での対策の準備	医療ひっ迫が懸念される地域において活動の一部自粛等を要請 状況に応じて重点措置の適用を要請(注3)			
1 維持すべき レベル	—	—	・接種率向上、追加接種 ・医療体制強化 ・総合的感染対策の継続	・県内、県外の感染リスクが高い場所への外出、緊急事態措置区域等への不要不急の移動自粛(注2)	・県内の感染拡大地域で営業時間短縮等(注2)	・感染拡大の兆候等があった場合、主催者に必要な協力を要請	・業種別ガイドラインの遵守 ・人との接触低減の取組実施の徹底
0 感染者 0 レベル	—	—	同上	・基本的な感染防止対策の徹底 ・認証店等の感染防止対策が取られた店舗の利用	・業種別ガイドラインの遵守 ・「ふじのくに安全・安心認証」取得への協力	・5,000人超かつ収容率50%超のイベント開催は県に「感染防止安全計画」を提出	・業種別ガイドラインの遵守 ・人との接触低減の取組実施
0	—	—	同上	同上	同上	同上	同上

(注1) 実際の対応は、感染状況や医療のひっ迫状況等を踏まえ、必要なものを実施する

(注2) 認証店やワクチン・検査パッケージ適用の場合は要件を緩和(より強い措置が必要な場合は緩和しない)

(注3) 重点措置が適用された場合、重点措置区域内ではレベル3に相当する対応も実施する